

# 訪問型作業療法 実践の流れ

## 退院・退所前訪問作業療法

## 退院・退所後訪問作業療法

## 訪問作業療法

### 目的

●在宅に戻って生活するにあたり、対象者や家族が抱えている不安やニーズを聞き取り、少しでも不安が減少するよう信頼関係の構築と支援体制を明確にする。

●実際に在宅に戻り、対象者・家族が具体的に困っていることや不安に思っていることや希望等を聞き、今後の方向性を専門職としての確に指し示し、信頼関係の構築を行う。

●在宅生活を継続するために、目標・介入の見直しを対象者・家族と適宜行い、専門職として経時的変化を幅広い視点から評価する。



### 連携 情報収集と

●他職種（介護支援専門員・医師・対象者と関わった病院・施設セラピスト・他のサービス提供事業者等）

文書でも口頭でも、専門用語の捉え方の相違から誤解を生じることもあるので、それぞれの特性をいかにしながら、的確な情報収集を心がける。

●対象者・家族

話す相手に合わせて、わかりやすい言葉で、作業療法士として知りたい情報を正確に効率よく行う。そして、真の思いやニーズを聞き取れるような聞き方をする。

### 評価・ 計画立案

#### 病院や施設にて

- 一般情報の確認
- 他部門・他事業所との連絡・調整・情報収集

#### 在宅にて

- 対象者の状況と家屋状況の確認



- 対象者・家族のニーズの確認
- 生活状況の確認
- リスク管理
- 物理的環境の確認
- 人的環境の確認



- 経時的変化の確認
- 介入の成果・見直しの確認
- 環境調整と見直し
- 目標や方向性の共有と確認



### チェックポイント

- 適切な礼節を心がけましたか？
- 自分の話ばかりしていませんか？
- 「真のニーズ」を聞き取れていますか？
- 在宅に戻るにあたっての不安が見えましたか？
- 介入方針が見つかりましたか？
- 正確に効率よく行いましたか？

- アポイントをとって訪問しましたか？
- 始める前に、おおよその所要時間を伝えましたか？
- 的を絞って実際の動作観察を行えましたか？
- 今後の方向性・目標を伝えましたか？
- 今後の方向性・目標について、対象者・家族の同意を得られましたか？

- 対象者・家族の様子はいつも通りでしたか？
- 介入の成果は見えてきましたか？
- 環境は適切に調整されていますか？
- 対象者・家族にわかる言葉できちんと伝えられていますか？
- 新たな課題を見落としていませんか？
- 目標や方向性を見失っていませんか？

### 心がけ

●話をただ聞くのではなく、作業療法士として知りたい情報を正確に効率よく、そして感じよく聞き、信頼関係を築けるよう努力する。

●上辺のニーズではなく真のニーズを把握するよう努力し、主体は対象者であるという姿勢を常に持つ。

●業務的に流されて訪問するのではなく、変化をしっかりと捉える努力を常に忘れず、対象者・家族の言葉に耳を傾ける姿勢を続ける。

# 訪問型作業療法

## Occupational Therapy Home-based Intervention

### はじめに

このマニュアルは、

1. 経験の浅い作業療法士を対象として書かれています。
2. 在宅で生活する人に対して行う作業療法のうち「訪問型」をとりあげています。

昨今の医療制度・介護保険制度の改定から、病院や施設で過ごす時間が短期化して、なるべく在宅で暮らすようと、国が懸命に促している様子が垣間見えてきます。

その流れから、

- \* 在宅に戻る準備に関わる作業療法士（退院・退所前訪問作業療法）
- \* 在宅に戻った直後の生活環境の調整に関わる作業療法士（退院・退所後訪問作業療法）
- \* 在宅に帰ってからの生活を支える作業療法士（狭義の訪問作業療法）

といった病院や施設の外で対象者の「在宅」を訪問して業務を行う作業療法士の数も年々増加傾向にあります。しかし、その運営母体は多岐にわたり、作業療法士としての経験年数も違い、地域や行政による差もあり、複雑な背景となっているのが現状です。

そこで、在宅で生活する人を支える作業療法を「訪問型」と「通所型」に分け、このマニュアルでは、「訪問型作業療法」について述べます。尚、在宅に訪問して行う作業療法の運営母体や制度の相違についても触れますが、訪問して行う作業療法をすべて「訪問型作業療法」と定義します。また、精神障害領域に関する訪問型作業療法については、そのマニュアルが今後発刊予定ですので、そちらを参考にしてください。

在宅で暮らす人に、適切で効果的な作業療法を提供できる作業療法士となるように、

- \* おさえておかなければならない制度的な背景
- \* チームの中での作業療法士の位置づけ
- \* 評価や計画立案、介入、書類作成、管理運営の知識・技術
- \* リスク管理



について、わかりやすく示すとともに、事例を通して、訪問型作業療法の具体的な一連の流れ、実際の評価・介入の実践について示します。

このマニュアルが「訪問型作業療法」における技と心を理解する一助になれば幸いです。